

# 2012年の キーワード

今年の東日本大震災は我々にエネルギー問題を再考させ、歴史的な円高は輸出依存の産業構造の見直しを迫った。世界をみても、欧米経済が減速する一方で、アジア新興国は安定した成長を続けている。企業経営者は自社の強みを見直し、事業の再構築を図ることにより、この大きな変革期をさらなる飛躍へのチャンスと捉えることが重要ではないだろうか。

本号では、刻々と変化する経済社会環境を再確認し、さらなる飛躍を遂げるために、特集のテーマを「2012年のキーワード」として、「円高・国内空洞化のゆくえ」、「会社の歴史を学ぶ」、「消費の新潮流」という3本の論文を取り上げた。

円高・国内空洞化の  
ゆくえ  
伊藤 宗彦

01

会社の歴史を学ぶ

森川 英正

02

消費の新潮流

首藤 明敏

03